

『病理と臨床』投稿規定

I. 投稿の種類

「原著」「症例」「病理技術」「情報処理」「Review/Opinion」「私の工夫」「ひろば」「CPC解説」への投稿を受けています。

II. 投稿の内容

本誌は、「人体病理学」および「病理に重点をおいた臨床」に関する論文で他誌に未発表のものを掲載いたします。他誌に掲載されたもの、または投稿中の論文はご遠慮ください。なお、連名の場合には共著者全員の了解のうえでご投稿ください。

III. 投稿の採否

すべての投稿論文の掲載の採否および掲載の順序は、2名以上の査読者の判定に基づき編集委員会で決定いたします。審査の結果、修正・削除・加筆をお願いすることがあります。

なお、本誌に掲載した論文の複写・複製・転載・翻訳・上映・譲渡・頒布・翻案・データベースへの取り込み、および公衆送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は、文光堂に帰属します。

IV. 校 正

著者による校正は初校のみとし、それ以降は、編集者の責任校了とします(送り仮名などは、多少手を加えさせていただくこともあります)。

V. 引用転載について

他の文献より文章・図・表などを引用される場合は、あらかじめ著作権者の了解を得てください。またその際には出典(著者名、書名、雑誌名、発行年、頁)を論文中に明記してください。

VI. 掲載料

規定枚数以内の論文については無料ですが、枚数超過の際は、超過分につき実費(刷り上がり1頁につき1万円)をいただきます。なお、「ひろば」の枚数超過は認められません。

カラー印刷を希望される場合は、すべて投稿者の実費負担になります。費用は、カラー図1点目を7万円、2点目以降は1点1万円となります(例:3点の場合、7万円+2万円=9万円となります)。

VII. 掲載誌および別刷

掲載の際は、本誌1部を無料進呈します。別刷は、ご希望の場合のみ作成し、すべて投稿者の実費負担になります。著者校正の際に10部単位でお申込みください。

VIII. 論文の書き方

- 1) 投稿原稿は審査のため、「正」・「副」2通お送りください。「副」の本文、表、図はコピーでもかまいませんが、写真は必ず2通とも紙焼きしたものを添付してください。
- 2) 掲載された原稿は、原則としてカラースライド以外は返却できませんので、必要な場合はあらかじめコピーをおとりください。不採用の際は返却致します。
- 3) 筆記具は、黒インクか黒ボールペンをご使用ください。
- 4) 400字詰原稿用紙に横書、楷書、新仮名遣い、口語体、常用漢字でお書きください。パソコン・ワープロを使用する際も、1枚に400字ずつ印字してください。
- 5) 本文中では専門的略語の使用はできるだけ避けて平易に執筆してください。やむをえず略語を使用する際は、初出の

箇所に正式名を書き、それに続いて略語を括弧に入れて示してください。

- 6) 外国語の人名、地名、物件名等は原語のまま用い、外国語は活字体(なるべくタイプしたもの)で表記してください。ただし日本語化しているものはカタカナとします。

- 7) 文献の表記は、

- a) 雜誌の場合は、著者名(2名以上の時は、et al、他とする):表題、雑誌名、発行年(西暦)、巻:頁-頁の順。
- b) 書籍の場合は、著者名:書名、版数、発行所、発行年(西暦)、pp頁-頁の順に書いてください。

[例]

- a) 雜 誌

Burke J. S. et al : Malignant lymphoma with a high content of epithelioid histiocytes (Lennert's lymphoma). Am J Clin Pathol 1976, 66: 1-9

大村一夫 他: 腹腔動脈撮影における転移性肝癌の診断上の意義について、脈管学 1979, 19: 117-127

- b) 書 種

Cowdry E.V. : Cancer Cells, 2nd ed, Saunders, 1955, pp496-497

Crawford P.T. : Care before and after surgery. Campbell's Operative Orthopedics (Crenshaw, A.H. ed), vol. 1, The C.V. Mosby, 1971, pp1-8

竹内 正 他編: 最新病理学、第2版、文光堂、1975, pp17-32

杉村 隆: 分化の異常としての癌細胞の理解。癌(東京大学医学研究所学友会編), 文光堂, 1973, pp1-13

- 8) 文献の記載は、引用順に、必要最小限のもの20以内とし、本文中の引用箇所に肩番号を付けてください。

- 9) 雜誌の略称は、欧文誌の場合は、「List of Journals Indexed in Index Medicus」、和文誌の場合は、「医学中央雑誌収録雑誌略名表」に準拠してください。

- 10) 写真は手札サイズ以上の鮮明なものをご用意ください。電顕写真には、スケールを入れてください。

- 11) 写真は原則として、タテ位置の時は原稿用紙1枚に、ヨコ位置の時は原稿用紙2/3枚に換算されます。

- 12) 組写真(例:図1a, 1b……など)の場合も、各々の写真を規定枚数中の1枚としてお考えください。

- 13) 図・表・写真の挿入箇所を本文中に明記してください。

- 14) 図・表・写真の説明文は、別紙にまとめてお書きください。

- 15) 写真に文字、矢印類を記入する際には、プレゼンテーションソフトウェアを用いるか、紙焼きにトレーシングペーパーをかけた上から、明示してください。

- 16) 度量衡の単位は国際単位系に準拠してください。

例: 長さ nm, μ m, mm, m, kmなど

質量 pg, ng, μ g, mg, g, kgなど

体積 mm^3 , μ L, mL, L, m^3 など

温度 $^{\circ}$ C, K

時間 s(秒), min(分), h(時)など

μ , \AA は使用できません。($1\mu=1\mu\text{m}$, $1\text{\AA}=0.1\text{nm}$)

「原書」の投稿規定

- 1) 原稿の枚数は、図・表・写真・文献を含み400字詰原稿用紙40枚以内(刷り上がり8頁)とします。

- 2) 論文の構成は、(1)表題、著者名、所属、key words(5個

	総枚数 (本文および図・表・写真)	和文抄録	英文抄録
原 著	40枚以内 (刷り上がり8頁)	400字以内	200語以内
症 例	20枚以内 (刷り上がり4頁)	400字以内	200語以内
病理技術	20枚以内	不 要	タイトルのみ必要
情報処理	20枚以内	不 要	タイトルのみ必要
Review/Opinion	40枚以内 (刷り上がり8頁)	不 要	タイトルのみ必要
私の工夫	4枚以内 (写真1枚まで含む)	不 要	タイトルのみ必要
ひろば	4枚以内 (刷り上がり1頁)	不 要	タイトルのみ必要
CPC解説	25枚以内 (刷り上がり5頁)	不 要	タイトルのみ必要

以内), (2) 和文抄録, (3) 本文, (4) 図・表・写真, (5) 写真などの説明文, (6) (1), (2) の英訳とします。

- 3) 本文の構成は, 原則として, a. 序言, b. 材料および方法, c. 成績, d. 考察・結論, e. 文献とします。
- 4) 抄録は和文400字以内, 英文200語(ダブルスペースにてタイプ)以内のものを添付してください。
- 5) 英文については, Language editorが加筆, 訂正, 削除することがあります。

「症例」の投稿規定

- 1) 原稿の枚数は, 図・表・写真・文献を含み400字詰原稿用紙20枚以内(刷り上がり4頁)とします。
- 2) 論文の構成は, (1) 表題, 著者名, 所属, key words(5個以内), (2) 和文抄録, (3) 本文, (4) 図・表・写真, (5) 写真などの説明文, (6) (1), (2) の英訳とします。
- 3) 本文の構成は, 原則として, a. 序言, b. 臨床的事項, c. 病理所見, d. 考察, e. 文献とします。
- 4) 和・英文抄録は「原著」に準じます。

「病理技術」の投稿規定

- 1) 固定法, 包埋法, 染色法などの開発・改良, 超微形態学・組織細胞化学・免疫組織化学などに関する新しい技術, 病理解剖に関する技術, 新しい機器の使用経験, 資料の保管に関する工夫などを内容とする論文とします。
- 2) 原稿枚数は, 図・表・写真・文献を含み, 400字詰原稿用紙20枚以内とします。
- 3) 原稿枚数および論文構成を除き, 執筆の要領は, 「原著」の場合と同じですが, 実際に役立つように, 具体的かつ平易にお書きください(和・英文抄録は不要ですが, 英文タイトルは必ず併記してください)。

「情報処理」の投稿規定

- 1) コンピュータを利用した情報処理の紹介, パソコン・ワープロの利用, 画像解析, 自動機器の開発, 医用工学の応用などを内容とした論文とします。
- 2) その他の執筆要項は, 「病理技術」に準じてください。

「Review/Opinion」の投稿規定

- 1) 広く病理に関する問題, 疾患概念, 新しい方法論, 病理学の展望に関する学術的な概説および意見を募集します。

2) 原稿枚数は400字詰原稿用紙40枚以内を厳守してください。

3) 氏名, ご連絡先(住所, 電話番号, E-mail)を明記してください。

「私の工夫」の投稿規定

- 1) 固定法, 包埋法, 染色法など病理技術上の, ちょっとした工夫, 知っておくと便利なこと。
- 2) 原稿枚数は, 400字詰原稿用紙4枚以内(写真1枚までを含む)を厳守してください。
- 3) 氏名, ご連絡先(住所, 電話番号, E-mail)を明記してください。

「ひろば」の投稿規定

- 1) 病理学に関する提言・苦言, 学会・研究会の紹介・報告等, 広く意見を募集します。
- 2) 原稿枚数は, 400字詰原稿用紙4枚以内を厳守してください。
- 3) 氏名, ご連絡先(住所, 電話番号, E-mail)を明記してください。

「CPC解説」の投稿規定

- 1) 教育的価値のあるもの, 貴重な症例, 検討会で議論となったものなど, “役に立つCPC症例”をまとめた原稿を募集します。
- 2) 原稿体裁は, CPC症例に即した形式で, 臨床上の問題点とその回答を含めたものとしてください。
- 3) 原稿枚数は, 400字詰原稿用紙25枚以内を厳守してください。
- 4) 氏名, ご連絡先(住所, 電話番号, E-mail)を明記してください。

論文送付先および投稿に関する問い合わせ先

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-7

文光堂「病理と臨床」編集室

E-mail : byoritorinsho@bunkodo.co.jp